

# ストリングの基礎知識

今回解説してくれるのは



村山友一

(テニスサポートセンター渋谷店)

テニスギアをこよなく愛するが故に、ラケットは自分のテニスの歴史として捨てられず大切に保存！ぜひ、お店でラケットワークしませんか？

知っているようで、あまり知られていないストリングのこと。このコーナーでは、読者から寄せられた素朴な疑問を、プロのストリンガーに答えてもらいました。皆さんのテニスライフ向上に役立ててください

## 打感を維持して切れる頻度を抑える方法と、ロールガットの寿命



「エラストクロス」はストリングの消耗を抑えてくれるが、打感も変わる。ラケットやストリングの開発は進んでいるため、合う商品が出てくるかも

残念ながら、現在の打感を完全に保つたまま、切れないようにすることはできません。かなり早いペースでストリングが切れてしまう方には、どうしてもパフォーマンスとコストを天秤にかけなくてはいけないタイミングがあります。

耐久性は諦めて、打感やボールの勢いなどのパフォーマンス重視か、それらを少し犠牲にして、他のラケットやストリング、アイテムを使用することでコストを抑えるかを考えてください。

**Q** 週1プレーヤーですが、2週間に1度は切れます。今の打感を保つまま、どうすれば経済的に(=もっと切れなく)なりますか？

(テニス歴15年/50代男性、XR3の130を47ポンドで使用)

ラケットやストリングの変更で耐久性を高める場合、打感は硬くなる傾向にあります。例えば、ラケットの設計上、ストリングの本数が少なく可動域が広いモデルの場合、ストリングは消耗しやすいです。それをストリングの本数が多く、可動域が狭いモデルに変えることで、消耗は抑えられます。

「XR3」と同じ素材のナイロンで耐久性を重視したストリングも現在は開発されています。構造の違いや他の素材を加えて耐久性を高めているのです。ただし、前述したように、どうしても打感は少し硬めになります。

耐久性を高める「エラストクロス」という商品もあります。これはストリング同士が交差する場所に装着し、消耗を抑えるものですが、やはり打感の変化は避けられません。

他の経済的な方法となると、ロールガットを購入しストリングの1張りあたりのコストを抑えることや、ラケットを複数本使用することで、1つのラケットにかかる負荷を分散する方法もあります。

ラケット、ストリングの変更やアイテムの使用により打感に変化しますが、デメリットばかりでもありません。変化を加えることでパフォーマンス向上の可能性もあります。ぜひ信頼できる専門店にご相談ください。



ロールガットの性能は、保存状態が良ければ4年は維持されるが……

**Q** ロールガットを購入した場合、どれぐらいで使い切らないといけませんか？

(テニス歴5年/40代女性)

**2年程度で使い切りを友達とシェアもあり**

1年半〜2年ほどでの使い切りを推奨しています。ただし、直射日光に当たらない、湿度の高い所に置かないなど保存状態が良ければ、ストリングはかなり長い期間、性能を維持できます。切れなくてもナイロンだと3カ月に1度、ポリエステルだと1カ月に1度ぐらいの頻度で、定期的に張り替えれば、使い切れないことはありません。この目安に沿って張り替える方、もっと早くストリングが切れてしまう方、複数本のラケットを持っている方が、ロールガットを利用されている場合が多いです。

ロールガットの容量は約16回分の商品が多いので、ナイロン

### ストリング都市伝説

#### ロールガットの容量は必ず200メートル(約16張り分)？

容量には違いがあります。ロールガットは120メートル(約10張り分)、200メートル(約16張り分)、220メートル(約18張り分)、240メートル(約20張り分)と、ストリングの種類によっても様々な容量があります。ロールガットの大きさやパッケージの表記を必ず見てください！



同じように見えて、実は容量に違いがあるロールガット

を使用されており、目安に沿って3カ月に1度張り替える場合には、4年間がロールガットを使い切る期間になります。

この期間なら、ストリングの性能維持には問題はないのですが、4年も経つとストリングの開発も進んで、もっと自分のプレーに合った新製品も発売されるかもしれません。そのため、1年半から2年程度で使い切ることをお勧めしています。もし、使い切れるか不安な場合は、友達とロールをシェアするのも解決策になると思います。